

南康生歴史画像

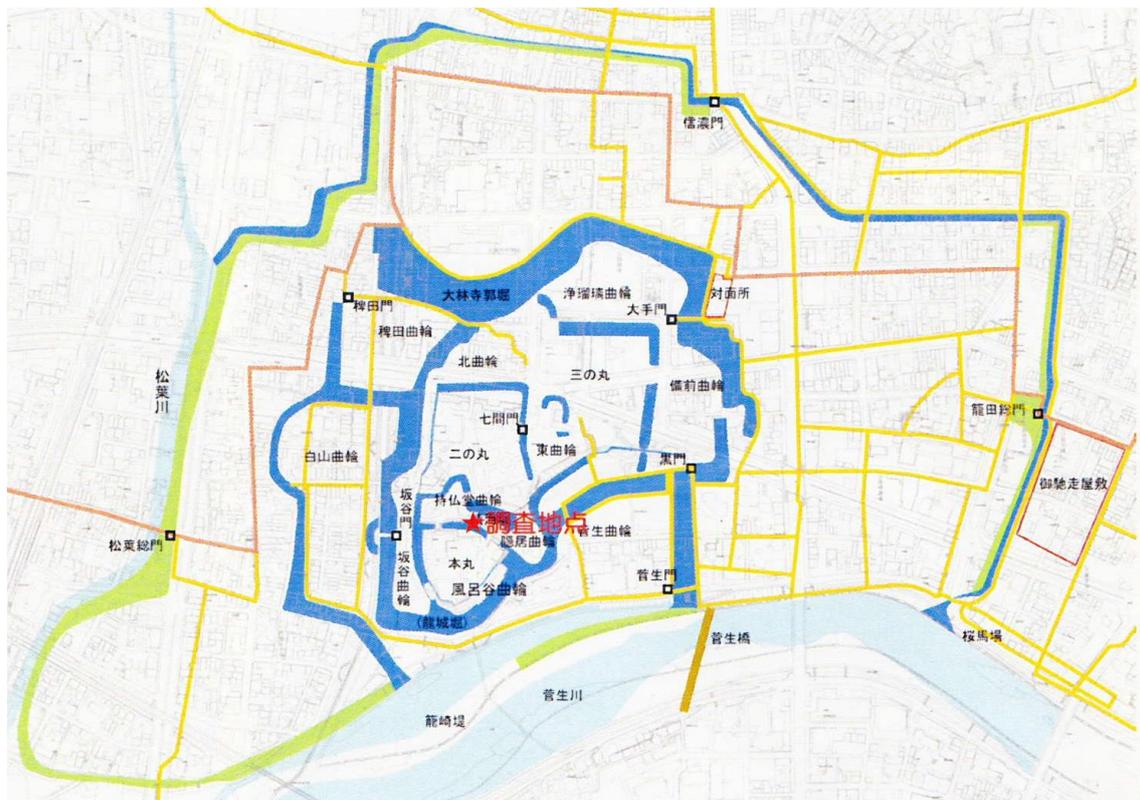
目 次

- ① 昔の地図
- ② 昔の航空写真
- ③ 昔と今の西岸寺
- ④ 昔の殿橋
- ⑤ 昔の国道1号線交差点
- ⑥ 昔の菅生神社
- ⑦ 本多家の江戸藩邸
- ⑧ 昔の岡崎の芸能と映画
- ⑨ 昔の岡崎公園
- ⑩ 今の岡崎公園

① 昔の地図



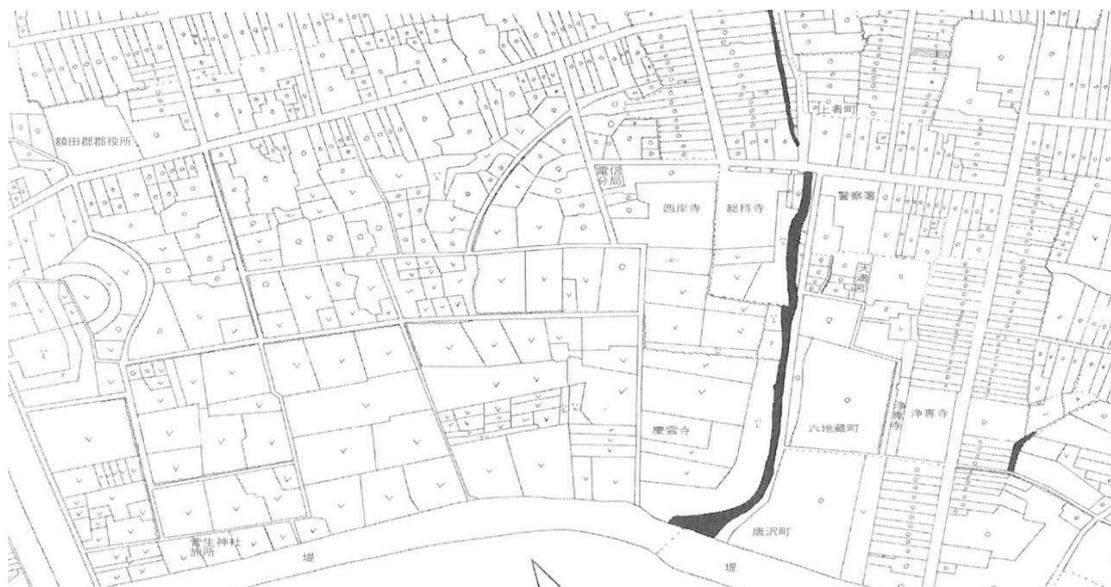
紫線は旧東海道（27曲がり）赤線は河岸段丘ライン



明治17年の地籍図 (愛知県公文書館)



岡崎城本丸の東照宮は寛永年間に建てられ、明和7年(1770)に本多忠勝を祀る映生社が建立されるにあたり三の丸に移されました。明治9年映生社、東照宮を合祀して龍城神社となり、同年菅生神社も龍城神社の境内に移されたますが、明治23年菅生神社は旧地に移転し、龍城神社は今も本丸に鎮座します。



明治8年、康生町という地名は家康公出生の地に因み、かつての岡崎城の中心的曲輪群とその東側の侍屋敷地を範囲としてつけられたが、昭和32年(1957)11月15日に一部は康生町から分離し康生通南となった。

福寿町、能見町西側、亀井町、八幡町には下級武士の組屋敷が置かれ、廃城後も旧宅を踏襲した(○印)とみられるが、上級家臣の屋敷は退転し畑(✓印)になった。

『三河岡崎城』愛知中世城郭研究会

河川の付け替え



昔の乙川は西に流れず岡崎城の南で南下し六名を
 経由し占部川に通じていましたが、1399年六名堤
 を築堤し、西へ開削したため矢作川からの水運がで
 けるようになりました。しかし明治15年に久後崎
 で破堤し死者43名、浸水家屋2千戸余りの被害が
 出る大惨事があり、現在石碑が建っています。

青木川は伊賀川と合流していましたが、正保から
 元禄年間にかけて矢作川と合流するように付け替え
 られました。

伊賀川も明治時代末期まで国道248号線の西側
 を流れていましたが、明治45年から工事が始まり、
 大正4年に現在の場所に付け替えられました。



昭和2～5年 岡崎市街図 岡崎市美術博物館蔵(大林寺郭堀、岡崎劇場が見えます。)

② 昔の航空写真



昭和 23 年 (1948 年) 航空写真 (国土地理院)

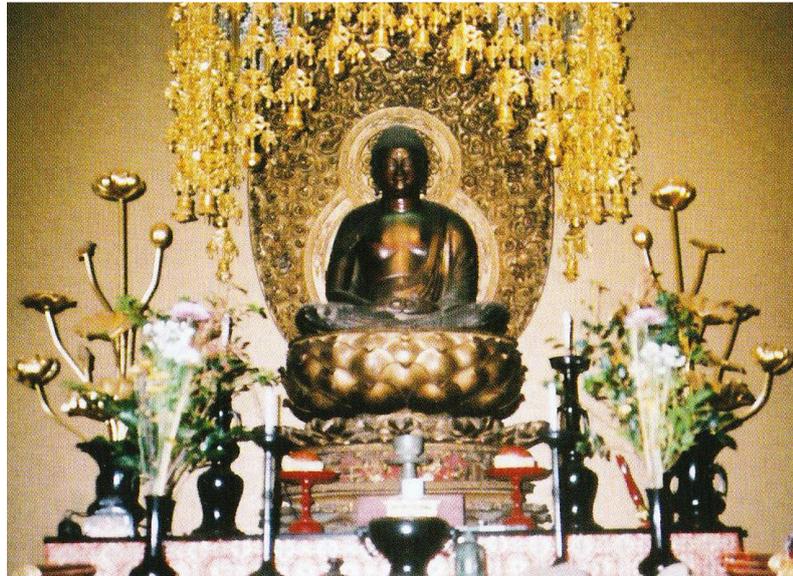


昭和 3 8 年 (1963 年) 岡崎博開催時の航空写真

③ 昔と今の西岸寺



西岸寺の赤門は岡崎城の外堀から将軍様が城内に入る東の入り口になっていました。当時はこの前にお籠がずらっと並んでいました。



上は恵心の作と伝えられる阿弥陀如来像
左は本多忠勝公の位牌（法名は西岸寺殿前中書長譽良信大居士）
徳川家の家紋である葵の御紋は本多家の立葵の家紋がルーツです。



今の西岸寺 故早川円浄先生は美術の先生でしたのでモダンな寺院になりました。



故早川円浄先生は
～昭和の情景～を
『思い出のわりばし
スケッチ』にまとめました。
左は菅生祭りの情景です。

昭和の初め頃 菅生祭りの鉦舟は今以上に豪華であった。
打上げ花火よりも金魚花火などに人気があり、河辺一帯が
火の饗宴として大変賑やかであったように思う。

④ 昔の殿橋



人力車が走る殿橋 右に岡崎電気軌道の架線が見える 大正 11 年頃



殿橋専用橋 大正時代 岡崎停車場～殿橋に電車が走り始めたのは 1912 年（大正元年 9 月 1 日）で殿橋は道路橋と分離された電車専用橋でした。



殿橋を渡る名鉄市内線 背後の丘に愛知学芸大学の建物が見える 1962年6月

⑤ 昔の国道1号線交差点

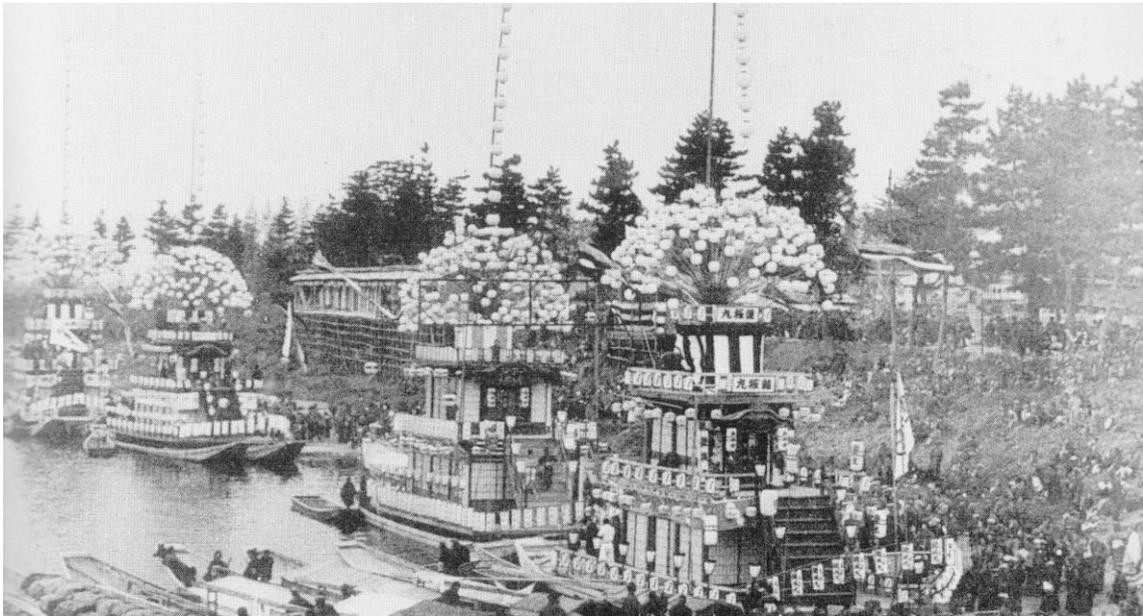


国道1号線を横切る「さよなら電車」、千鳥洋服店の場所には現在は太陽生命のビルが建っています。
昭和37年（1962年）

⑥ 昔の菅生神社



大正時代 祐金町に住んでいた木版職人「彫勘」こと故鈴木勘次郎さんの作品ですが、氏子の町毎に銚舟名が記載されています。



7月の例祭：川を上り下りする銚舟から金魚、手筒の火の饗宴は「てんのうさん」のお祭りとして岡崎の夏の風物詩でしたが、7月20日の例祭日が岡崎の空襲日と同じため、現在は岡崎市観光花火祭りに衣替えした形になりました。『写真集岡崎いまむかし』

⑦ 本多家の江戸藩邸（上屋敷 表門）



本多家の江戸の上屋敷は八重洲大名小路の一角（現千代田区丸の内二丁目、旧東京中央郵便局周辺）にあり、写真は当時老中であった本多忠民の江戸上屋敷の表門です。文久二年（1862年）の同屋敷が火災の後、元治元年（1864年）10月頃までに再建されました。その規模は大名小路に沿って南北120メートルに及ぶ長大な屋敷の表門でした。現在は港区赤坂にある山脇学園中学校・高校に移設されました。（国指定 重要文化財です。）

また本多家中屋敷は本郷森川町（現在は本郷6丁目 東京大学正門の前辺り）にありました。徳川家康公の神号は東照大権現、本多忠勝公の神号は映世大明神ですが、戦前までは森川町に映世神社があったようです。

⑧ 昔の岡崎の芸能と映画



南康生は三河の芸能文化の中心地でした。歌舞伎座を模した入母屋造りの岡崎劇場
写真は 大正 12、3 年頃



「希望音楽会」は大盛況で灰田勝彦、三浦洸一、市丸、渡辺はま子、宮城まり子等
当時一流の人気スターがステージに立ちました。（昭和 28 年）



娯楽といえば映画の時代、南康生にも多くの人 came ました。
今はコンビニになっています。

⑨ 昔の岡崎公園



殿橋下流の土場

舟運が消えつつある昭和2年頃



清海掘と廊下橋

(現在はアーチ型の橋)

昭和元年頃 (1925 年頃)

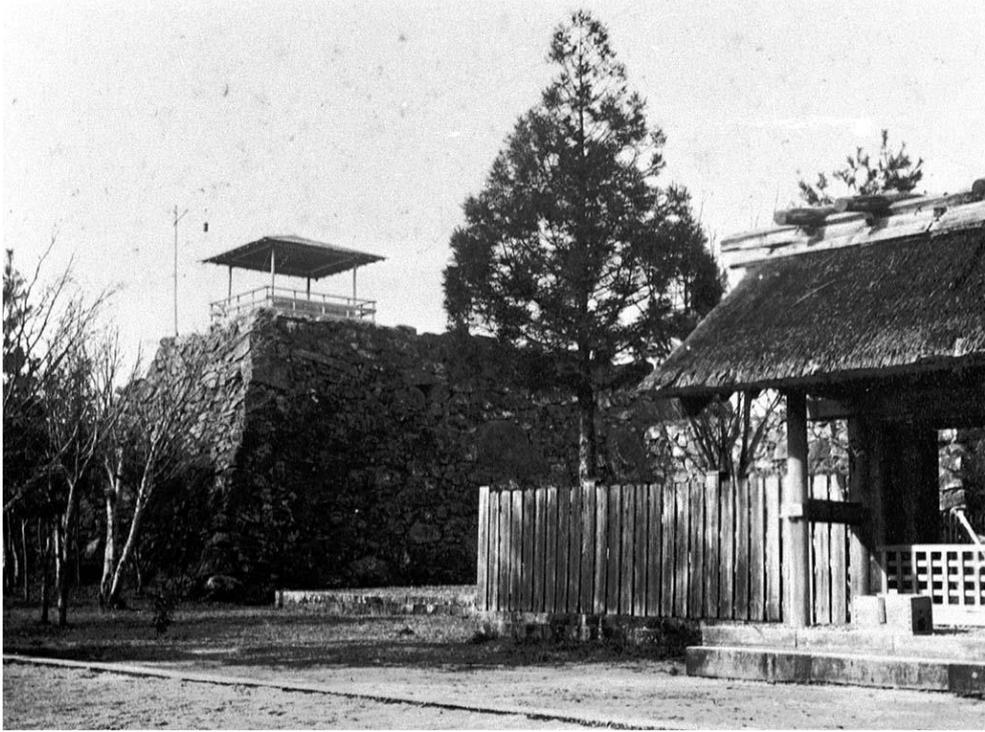


坂谷曲輪と本丸

(南から)

昭和元年頃

(1925 年頃)



天守台石垣 昭和元年頃（1925年頃）右は龍城神社の玉垣



風呂谷曲輪から乙川方向（北東から）昭和元年頃（1925年頃）

⑩ 今の岡崎公園



岡崎公園は昭和34年（1959年）に天守閣も復興し、四季を通じて美しい公園です



同じ地域で暮らすご縁を大切に、協力し合い明るい未来を切り拓きましょう。